

# 広報

# たてやま 特集号

昭和54年11月1日発行 ■発行／館山市役所市長公室 〒294 館山市北条1145-1 ■電話／2-3111

## 市制施行

昭和14年館山

北条、那古、船形

の3町が合併して

市制を施行 ■18年

市立図書館開設 ■28

年館山商工会議所開

所 ■29年西岬、神戸、富

崎、豊房、館野、九重の6

村を合併 ■33年ペリンナム

市と姉妹都市に。南房総国立公

園に指定 ■35年国民宿舎鳩山荘

開設 ■37年ユースホテル開設

■38年「公明選挙都市」宣言 ■40

年7農協

が合併し

て館山市

農協に。「交通安全都市」

宣言 ■41年房総フラワー

イン開通 ■42年館山漁協と

船形漁協が合併して館山船

形漁協に ■43年市民センタ

ー開設 ■44年「市民憲章」制

定 ■45年老人福祉センター

と温水プールを開設 ■47年

「老人憲章」制定。特急さざ

なみ号運転開始 ■48年国民

体育大会開催。石和町と姉

妹都市に ■49年「福祉都市」

宣言 ■52年作名ダム完成し、

給水始める ■53年市民運動

場開設 ■54年市民体育館完

成。市制施行40周年。

## 周年記念



宇田昭夫さん、北条九七三の四(会社員)、「もう四十歳ですか……。早いものです」

40年前の市制施行日、11月3日に産ぶ声をあげたみなさんに40年を振り返っての感想、将来の館山に託す夢や近況を「一言」話してもらいました。



鈴木初江さん、上野原三五二(会社員)、「昔と比べるといろいろな面で向上していますね」

志村和子さん、船形446(主婦)、「家族でゆっくり楽しめる観光地になってほしいですね」



# 私たちも40歳

須田明さん、竹原796(農業)「米づくりにせいでいます」



辰野彌生さん、館山一〇三九(主婦)、「もっと、住みよい町にしたいですね」

C.11.43

# 市の発展に貢献 名誉市民に6氏

市の発展に大きく貢献した6氏が、名誉市民に決まりました。名誉市民は、広く社会の発展と文化の向上に尽し、市民から敬愛される方々の功績をたたえるものです。(故人、生存者別に五十音順。敬称略)



故 水田三喜男

東京都文京区西片二の一八の一〇、通商産業大臣、大蔵大臣。



田村利男

北条一〇五三、七十五歳、元館山市市長、田村第二病院院長。



故 高橋祐二

北条一七七二、千葉県議会議長、千葉県観光協会会長。



小高熹郎

館山九五、七十七歳、千葉県議會議員、衆議院議員。

長須賀九六、館山病院院長、館山ユニスコ協会会長。

故 穂坂與明

北条一六四〇、七十六歳、館山病院院長、館山市図書館館長。

川名正義

## 保健衛生功勞

浅井靖、網代富藏、安西静、安藤建治、伊賀多朗、石井昭、石井真、岡崎孝彦、岡本梅春、小谷庸、小谷有仁、神作敏男、清川彰、黒川裕、小松千代雄、斎藤任、白幡静夫、白藤又市、関野総介、高木高、高木達、角田博、林昭男、平野茂、茂木英一、門田良作、和田一恵。

## 福祉功勞

今井知十、大内善高、岡本美枝、小澤正夫、小瀧新司、栗山源道、黒川良恭、小林昭道、佐野榮昭、高塚エイ、滝口為八、津島四郎、早川まさる、宮崎中、安田忠雄、龍崎行一。

## 納税功勞

伊藤雪江、加藤利、久佐沢信次、永田政吉、平野嘉一、満田新三郎。

## 統計功勞

秋山勝藏、秋山太一郎、秋山守、石川仁太郎、大山正廣、小谷壽夫、景山信夫、加瀬義雄、北原重雄、近藤好雄、斎藤信、佐藤うめ子、白石巳之助、鈴木千治、鈴木全龍、鈴木文二、須藤八夫、高田耕平、高橋豊、田中益太郎、八朔日強、安田孝、八巻哲夫、龍崎行一。

# 功勞者

## 消防・交通防犯功勞

山本かつ、渡辺傳藏、相川孝一、安西喜一、安西友吉、安西保治、飯居亭、石井七之助、磯辺博、伊藤昭三、海老原芳雄、大西好明、小栗賢爾、押本稔、糟谷正市、川名佐助、倉持市雄、小峰庫治郎、佐々木理、獅子口政雄、島田大助、鈴木昭、鈴木清吾、高尾敏勝、武田明、武山金太郎、辻井謙爾、津島房治郎、豊崎久喜、中間重則、福原富次雄、藤田好治、本間昭二、前田琴司、前田貞治、正木武守、松尾謙治、三平泰治、森下肇、山口秀雄、山崎岩城、山中末弘、山本清、和城市太郎、渡部上、小形恒吉。

# を表彰

## 産業功勞

明星信太郎、石井繁太郎、石井金治郎、江川直太、小澤忠太郎、小田恒、小谷耕作、加藤喜代治、川名泰寿、川名武男、木高好太郎、北山新太郎、木下旭、黒川浩、幸田一雄、小谷仙太、小宮卯之吉、斎藤一男、斎藤武子、堺市五郎、佐々木一男、佐野一夫、佐野重夫、佐野茂之助、佐野信、佐野元一、佐野與四郎、佐野若雄、嶋田栄七、島田金次、島田国治、島野光治、庄司三三男、白幡辰男、新藤清一、鈴木俊一、鈴木正一郎、鈴木四郎、鈴木孝、鈴木良重、高尾兼吉、高橋榮、館石伝藏、田中義正、戸倉寅吉、中村憲治、長谷川やす、福原市之助、丸上信雄、三平道雄、森田竹松、安田誠之助、安田誠、山田健兒、山梨貞一郎、吉田清治、吉田武雄、渡辺政雄、秋山増夫、千葉昭、長原文雄。

## 教育文化功勞

安西良雄、伊介房治郎、和泉武夫、海老原市郎、篠塚俊太、関和雄、高木仁三、富沢道次、穂積弘、山田恵三。

## 自治功勞

相川ケイ、青木三之助、天野恒安、安西益男、飯田義男、池田公憲、大嶋重義、小川勝藏、小沢正治、忍貞夫、菊井敏博、君塚文雄、小柴せつ子、真田正己、佐野櫻子、佐野信一、鈴木花枝、田中祿郎、田村喜兵衛、津田愛三郎、角田巖、遠山ヨネ子、西

# 文化福祉都市を目指し

市長 半澤良一



海と花と太陽の町館山市は、昭和十四年に市制を施行してから、本年で四十周年の記念すべき年を迎えました。この間、激動著しい経済社会情勢のなかで市の歩みは必ずしも平坦なものではなく、特に軍都であったため戦後の歴史は厳しいものがありました。市民の英知とエネルギーを結集して、今日まで堅実な発展を続けてまいりました。

# 八〇年代に向けて

議長 石井正



県南の中心都市として、着実に発展を続けてきました館山市が、本年市制施行四十周年という記念すべき年を迎えました。この間、幾多の変遷はありましたが、市議会も極めて円満のうちに、そのつど当面する諸問題に対処し、市政の順調な歩みを促進してきました。これもひとえに市民各位のご協力の賜であ

り衷心より感謝の意を表します。当市も近代的都市形成のため、諸施設を初めとし、社会経済各

般にわたり、市勢も今日の盛況を招来し、さらに一九八〇年代に向かつて文化福祉都市の建設を目的に、住民要望、経済情勢の変化に対応しつつ、諸施策の実現に十分の審議をつくり、市民各位のご要望に従い早期実現を図り、住民生活向上のため努力する所存です。しかしながら諸施策の実施にあたっては、常に市民各位のご理解とご協力が必要です。なにとぞ、格段のご支援を賜りますようお願いいたしますと共に、市民各位には、明るい家庭豊かな郷土づくりのため精進されますことを心から念じてやみません。

ある香り高い文化福祉都市」を目指し、環境の整備や教育・文化・福祉施設等の整備を進めてまいりました。しかし、現在の市民生活は複雑多様化し、これに対応するために、なお一層環境整備の促進、都市施設の充実等多くの問題解決に迫られております。

この実現のためには、日々変動する社会情勢をふまえたうえでの着実な努力の積み重ねと、これに対する市民の理解と協力が必要であると考えます。今後とも、市勢発展のため、より一層のご協力をお願い申し上げます。

市が誕生してから四十年、この間、各分野で市の発展に尽くした方々が表彰されます。表彰式は、十一月二日市民センターで行われます。各功勞者二百二十一人の氏名は次のとおりです。(順不同・敬称略)

## 自治功勞

相川ケイ、青木三之助、天野恒安、安西益男、飯田義男、池田公憲、大嶋重義、小川勝藏、小沢正治、忍貞夫、菊井敏博、君塚文雄、小柴せつ子、真田正己、佐野櫻子、佐野信一、鈴木花枝、田中祿郎、田村喜兵衛、津田愛三郎、角田巖、遠山ヨネ子、西

## 産業功勞

明星信太郎、石井繁太郎、石井金治郎、江川直太、小澤忠太郎、小田恒、小谷耕作、加藤喜代治、川名泰寿、川名武男、木高好太郎、北山新太郎、木下旭、黒川浩、幸田一雄、小宮卯之吉、斎藤一男、斎藤武子、堺市五郎、佐々木一男、佐野一夫、佐野重夫、佐野茂之助、佐野信、佐野元一、佐野與四郎、佐野若雄、嶋田栄七、島田金次、島田国治、島野光治、庄司三三男、白幡辰男、新藤清一、鈴木俊一、鈴木正一郎、鈴木四郎、鈴木孝、鈴木良重、高尾兼吉、高橋榮、館石伝藏、田中義正、戸倉寅吉、中村憲治、長谷川やす、福原市之助、丸上信雄、三平道雄、森田竹松、安田誠之助、安田誠、山田健兒、山梨貞一郎、吉田清治、吉田武雄、渡辺政雄、秋山増夫、千葉昭、長原文雄。

## 教育文化功勞

安西良雄、伊介房治郎、和泉武夫、海老原市郎、篠塚俊太、関和雄、高木仁三、富沢道次、穂積弘、山田恵三。

### 公園



市内には城山、沖の島など6つの都市公園があります。ことしは沖の島公園に、自然と調和する休けい所をつくりまします。館山運動公園は、藤原地区に県が建設中です。59年完成が予定されていますが、1日も早く完成させるように、関係方面に働きかけます。

1980年代

## 本市の

### 上水道



市内の水道は、館山市水道と三芳水道の2本立て。両方あわせて、4万7千人に、毎日1万1千トンを配水しています。まだ水道のない館野・九重地区に水道を敷くため、新しい水源を調査しています。

### 道路・交通

都市機能の中心となる道路・交通網の整備は、急がなければなりません。交通事情の悪化から市民生活を守るための一二七号バイパス建設や、国鉄内房線の複線化などを、関係機関に働きかけます。国鉄館山駅前の混雑を解消する方法も研究課題です。



### し尿・ごみ

毎日の暮らしに欠かせない、し尿・ごみ処理施設は、すっかり古くなってしまいました。このため、し尿処理は出野尾地区の十二万三千平方メートルの土地に、一日百トンの能力をもつ、新処理場をつくりまします。これは、ことしと来年の二年間で、総事業費は、およそ十四億七千万円。ごみ処理は、一日八十トンの能力をもつ新しい焼却場をつくるため、用地の選定に全力をあげています。

### 産業の振興

農業振興のために、基盤整備をはじめ、いろいろな施策を行い、農業の近代化を進めています。漁業は、港湾を整備するほか、育てる漁業のために、くるまえばい・あわびの種苗放流、人工魚しようづくりなどの振興策をとっています。都市間での競争が激しくなると、商工業も厳しい環境にあります。近隣の都市に負けないように、商工業の近代化を進めなくては、いけません。また、恵まれた自然を生かして、観光を発展させる施策に努力します。



## 課題

に向けて

### 心の福祉



物を与えるだけでなく、心のかよいう福祉が大切です。このために、地域ぐるみの福祉活動を進めます。一方、本当に困っている人々には援助をおしませません。心身障害者のためには、ことしの10月に福祉作業所をつくり、自立への手助けをしています。

### 教育施設

古い木造の校舎を、鉄筋コンクリートの校舎に建て替えています。来年4月の、中学校統合に間に合わせるため、第三中学校の建設も急ピッチで行っています。体力づくりのために、市民体育館と市民運動場をつくりましましたが、学校の8つの体育館と、13のプールも一般に開放しています。文化施設を充実させるため、コミュニティセンターと博物館を、数年のうち実現させるため、検討しています。



